



平成15年度 京都大学防災研究所研究発表講演会 プログラム

開催日：平成16年2月19日（木）～20日（金）
場 所：京都テルサ 京都市南区東九条下殿田町70番地
JR 京都駅から南へ徒歩10分

平成16年2月19日（木）

災害調査報告・特別講演 9:30-14:10 大会議室

一般講演 14:30-18:00

COE 会場 〔大会議室〕	A 会場 〔第1セミナー室〕	B 会場 〔第2セミナー室〕	C 会場 〔第3セミナー室〕	D 会場 〔視聴覚研修室〕
21世紀 COE	大気(I)	地盤(I)	強震動(I)	火 山

平成16年2月20日（金）

一般講演 9:00-12:00（午前）

COE 会場 〔大会議室〕	A 会場 〔第1セミナー室〕	B 会場 〔第2セミナー室〕	C 会場 〔第3セミナー室〕	D 会場 〔視聴覚研修室〕
21世紀 COE	大気(II)・河川(I)	地盤(II)	強震動(II)	地震(I)

一般講演 14:00-18:00（午後）

COE 会場 〔大会議室〕	A 会場 〔第1セミナー室〕	B 会場 〔第2セミナー室〕	C 会場 〔第3セミナー室〕	D 会場 〔視聴覚研修室〕
21世紀 COE	河川(II)	総 合	強震動(III)・海岸	地震(II)

ポスターセッション 9:00-17:00 中会議室

ポスターセッション発表は 13:00-14:00

京都テルサ（大会議室）

平成 16 年 2 月 19 日（木）

9:30 開会の辞 所長 井上 和也

災害調査報告

9:40 十勝沖地震津波 河田 恵昭

10:10 九州土砂災害 千木良 雅弘

10:40 韓国高潮災害 高山 知司

特別講演

11:10 大地震の強震動予測のためのレシピ 入倉 孝次郎

12:10 （休憩）

特別講演

13:10 バングラデシュの洪水災害 岡 太郎

21世紀COE講演

研究総括および

防災情報の作成・伝達と災害リスクマネジメントに関する新技術の研究

21世紀COE会場—大会議室

- 14:30 COE01. 研究経過と展望
河田恵昭
- 14:45 COE02. 災害ハザード・リスク・復興過程等に関する情報の統合型データベース・システムの構築
○川方裕則・河田恵昭・林 春男・田中哮義・**Kenneth C.Topping**
矢守克也・吉富 望・浦川 豪・久貝智洋
- 15:00 COE03. 防災情報のためのクロスメディアデータベースの構築
○久貝智洋・河田恵昭・林 春男
- 15:15 COE04. 防災情報のためのクロスメディアデータベースの開発と実践的活用に関するケーススタディー
○浦川 豪・林 春男
- 15:30 COE05. 印刷物・映像情報の電子ファイル化とWeb上で高速検索可能なシステムの構築
平野憲雄・多河英雄・吉田義則・○松浦秀起
○辰己賢一・三浦 勉・和田博夫・高山鉄朗
- 15:45 COE06. 9・11 米国同時多発テロ事件におけるGISの活用
吉富ポール
- 16:00 (休憩)
- 16:15 COE07. 参加型の地震防災計画の開発
—フィリピン・マリキナ市におけるケーススタディー—
○近藤民代・林 春男・**Kenneth C.Topping**・牧 紀男・立木茂雄・田中 聡
馬場美智子・田村圭子・堀江 啓・長谷川浩一・柄谷友香・深澤良信
- 16:30 COE08. 自治体の防災に貢献する地震情報の構築と提供
—GISによるデータベースの構築—
○野口竜也・渡辺邦彦・板場智史・西田良平・梅田康弘
- 16:45 COE09. 自治体の地震防災に貢献する地震情報とその提供手法に関する研究
○渡辺邦彦・梅田康弘・大志万直人・橋本 学・**MORI, James Jiro**
伊藤 潔・大見士朗・澁谷拓郎・野口竜也・西田良平
岩下文広・浜田定則・小林亮志
- 17:00 COE10. 日本列島下における活動的地殻の遠地地震波を用いた地震学的モニタリング
○宮澤理穂・**MORI, James Jiro**
- 17:15 COE11. 津波災害低減のための自然力(防潮林)の活用について
河田恵昭・○原田賢治
- 17:30 COE12. 火山防災のための教育普及に関する実践的研究
—エコミュージアムのコンセプトを適用した事例について—
○福島大輔・石原和弘
- 17:45 COE13. 火山活動の評価手法の開発と火山防災情報に関する研究(序報)
石原和弘

一 般 講 演

大気 (I)

A 会場—第1セミナー室

- 14:30 A01. 二次元放射モデルを用いた古気候研究 (3)
○高村陽子・木田秀次
- 14:45 A02. 日本付近に到達する空気塊流跡線の季節変化
○風岡 亮・木田秀次
- 15:00 A03. 全球的降水量極値の長期変動に関する解析
—NCEP 及び ECMWF 再解析データの比較—
○久保田拓志・岩嶋樹也
- 15:15 A04. ストームトラックの変動に伴う対流圏界面高度の季節内長周期変動
○向川 均・山下景子・長谷部文雄
- 15:30 A05. 対流圏硫黄循環の数値シミュレーション
○新添多聞・木田秀次
- 15:45 A06. グローバルモデルを用いた植生起源炭素フラックスの季節変化の研究
○井口敬雄・木田秀次
- 16:00 (休 憩)
- 16:15 A07. 都市域とその周辺における大気微量成分濃度とその変動 (IV)
○岩嶋樹也・村松久史・福山 薫・森山 茂
- 16:30 A08. **Modeling Liquid Water Content of Atmospheric Aerosols**
○梶野瑞王・植田洋匡・Wilfried Winiwarter
- 16:45 A09. 大規模山岳における低気圧性渦の立体構造
○穂積 祐・植田洋匡
- 17:00 A10. 台風の温帯低気圧化時における上層・下層の渦位偏差間の相互作用に関する研究
○吉野 純・石川裕彦・植田洋匡
- 17:15 A11. 中国の気象衛星 FY2b による大気観測
○奥勇一郎・石川裕彦
- 17:30 A12. 信楽における大気境界層乱流の構造の観測
○堀口光章・林 泰一・植田洋匡

一 般 講 演

地盤 (I)

B会場-第2セミナー室

- 14:30 B01. 平成15年7月20日水俣市宝川内地区の土砂災害
○佐々恭二・福岡 浩・王 功輝
- 14:45 B02. 実規模斜面モデルと大型降雨実験装置による高速土砂流動 実験 (その2)
○森脇 寛・落合博貴・佐々恭二・井口 隆
八反地剛・佐々木良宣・小暮哲也
- 15:00 B03. 斜面の巨大崩壊の様相と、その流動距離解析
東畑郁生
- 15:15 B04. 可視型地震時地すべり再現試験機による流動化発生時の粒子挙動の計測
○福岡 浩・王 功輝・石川直秀・佐々恭二
- 15:30 B05. 白山地域における甚之助谷巨大地すべりの変動機構及び運動予測
○汪 発武・松本樹典・佐々恭二
- 15:45 B06. 地すべり発生時の地下水の観測事例
末峯 章
- 16:00 (休 憩)
- 16:15 B07. On the Mechanism of Loess Landslides Induced by the 1920 Haiyuan Earthquake, China
○Gonghui Wang · Dexuan Zhang · Gen Furuya
Kyoji Sassa · Hiroshi Fukuoka
- 16:30 B08. The Influence of Grain Size Distribution on the Shear Behavior of Granular Materials
○Ogbonaya Igwe · Kyoji Sassa · Hiroshi Fukuoka
- 16:45 B09. Deformation of Saturated Sandy Soils under Shearing in Ring Shear Test
○Muhhamad Wafid Agung · Wang Gonghui
Hiroshi Fukuoka · Kyoji Sassa
- 17:00 B10. Seismic Stability Analysis of Tsukidate Landslide Triggered by the 26 May 2003 Sanriku - Minami Earthquake
○Aurelian C. Trandafir · Kyoji Sassa · Hiroshi Fukuoka
- 17:15 B11. 航空レーザスキャナによる危険斜面の計測・解析技術の開発
○関口辰夫・佐藤 浩・佐々恭二
- 17:30 B12. 降雨による崩壊が多発した地域の地質-広域的ハザード評価に向けて
千木良雅弘
- 17:45 B13. 十津川流域の侵食と流砂
諏訪 浩

一 般 講 演

強震動 (I)

C会場-第3セミナー室

- 14:45 C01. 近畿圏強震動データ統合化システムの構築に向けて(1)
○松波孝治・大見士朗
- 15:00 C02. Source-Scaling Model Implied from Dynamic Rupture Simulation
○Dalguer L.A・K. Irikura・H. Miyake
- 15:15 C03. 特性化震源モデルの応力パラメータ
○岩田知孝・浅野公之・Wenbo Zhang・関口春子・三宅弘恵・宮腰 研
- 15:30 C04. 大阪平野における想定南海・東南海地震の強震動予測
○川辺秀憲・釜江克宏
- 15:45 (休 憩)
- 16:00 C05. 海が地震動に及ぼす影響
—数値実験による評価—
○畑山 健・岩田知孝・竹中博士・大島光貴
- 16:15 C06. 2003年7月26日宮城県北部の震源域における地震動強さと木造建物被害の分析
○林 康裕・森井健史・清水秀丸・鈴木祥之
- 16:30 C07. 2003年宮城県沖・宮城県北部地震における地震動強さと病院被害の関係
○郭 耕杖・林 康裕
- 16:45 C08. 2001年芸予地震における三原市の地震動推定と構造物被害の分析
○森井雄史・林 康裕

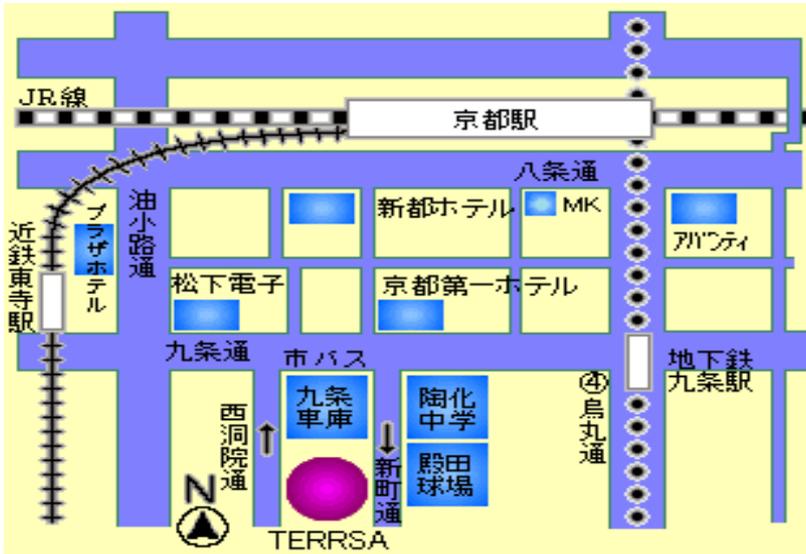
一 般 講 演

火 山

D 会場—視聴覚研修室

- 14:45 D1.** 九重火山西部地域の地熱流体システムと地震活動
○吉川美由紀・須藤靖明
- 15:00 D2.** 雲仙火山の平成噴火溶岩の鉄チタン酸化物
—溶岩ドーム内部の高温酸化現象—
○齋藤武士・石川尚人・鎌田浩毅
- 15:15 D3.** 地盤変動および重力測定データによる桜島火山直下の質量収支
○山本圭吾・高山鉄朗・石原和弘
- 15:30 D4.** B型地震群発と爆発的噴火に後続するハーモニック微動の比較研究
○スキルマリヤント・井口正人・為栗 健
- 15:45** (休 憩)
- 16:00 D5.** 地磁気観測から推定される口永良部島火山の熱的状态
○神田 径・田中良和・宇津木充・藤井郁子・橋本武志
- 16:15 D6.** 諏訪之瀬島火山の小規模噴火地震に伴う長周期パルスについて
○井口正人・為栗 健・森 健彦・高山鉄朗・八木原寛
平野舟一郎・大倉敬宏・吉川 慎
- 16:30 D7.** 諏訪之瀬島火山における噴火機構の研究
—2003年11月の噴火地震の初動解析—
○為栗 健・井口正人・八木原寛
- 16:45 D8.** **Magma supply system at Merapi volcano, inferred from the location of VT earthquakes and their focal mechanisms**
○Sri Hidayati・Kazuhiro Ishihara・Masato Iguchi
Antonius Ratdomopurbo

会場案内図



交通のご案内

JR京都駅(八条口西口)より南へ
徒歩約10分

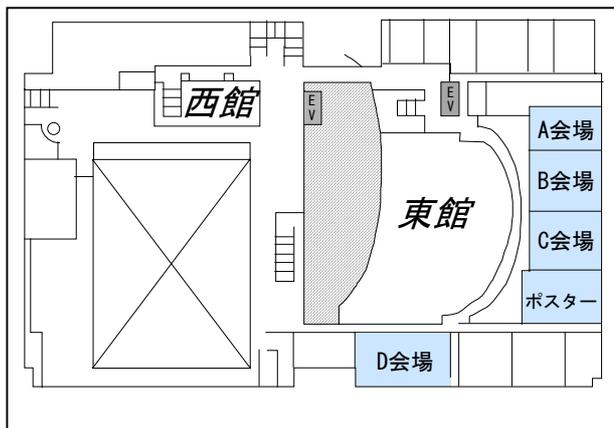
近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分

地下鉄九条駅④番出口より
西へ徒歩約5分

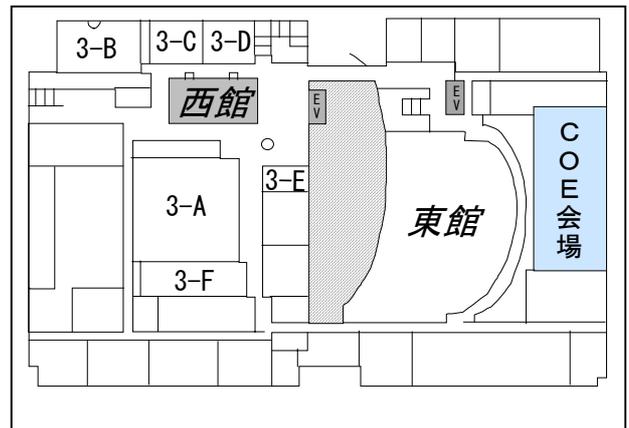
市バス九条車庫南へすぐ

会場案内 (京都テルサ)

京都テルサ 2階



京都テルサ 3階



連絡先：京都大学防災研究所 0774 (38) 4005
京都テルサ 075 (692) 3400